

うみ ほうせき 海の宝石？サンゴについて



うみ なか 海の中にあるサンゴを見たことはありますか？ごつごつして、岩のように見えたり、はたまた枝分かれして色鮮やかな植物のように見えますが実はサンゴはクラゲやイソギンチャクの仲間、れっきとした動物です。今回はそんなサンゴについて、紹介します。



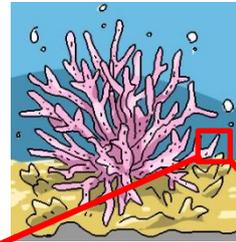
きれいなサンゴ (和歌山県串本)



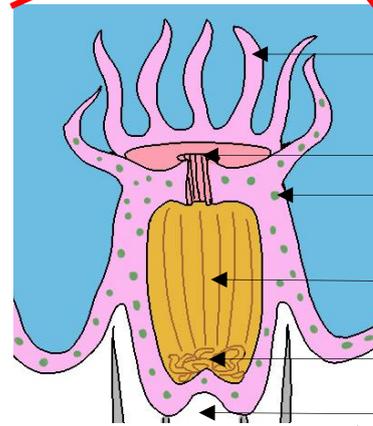
Q. サンゴってどうやって生きているの？ サンゴの体の仕組みについて

サンゴ1つ1つは小さく、それぞれコップをひっくりかえした様な形の体（ポリプといいます）があります。小さいので見えにくいですが、クラゲと同じように触手や口があり、動くことはできませんが、海に漂っているプランクトンを食べて成長しています。

サンゴの中には褐虫藻という小さい生き物を体に住まわしている種があります。褐虫藻は植物のように光合成ができ、その栄養をサンゴがもらうことで、他のサンゴよりも成長でき、合わさって大きなサンゴ礁を形成しています。



◀1つのサンゴに見えるけど、何匹ものサンゴが集まっている群体です。拡大して体の仕組みを見てみよう！



- 触手：プランクトンを捕まえます
- 口：プランクトンを食べる場所
- 褐虫藻：光合成をします
- 胃腔：食べたものが入る場所
- 隔膜糸：食べたものを消化します
- 骨格：体（ポリプ）を支えます

サンゴの体（ポリプ）の拡大図



【サンゴ礁の白化現象について】



写真のようにサンゴが白く見える状態は、サンゴの体内にもともといた褐虫藻がいなくなって、白い骨格が透けて見えている状態で、**白化**と言います。このままの状態が1か月ほど続いたら、サンゴは死んでしまうといわれています。白化の原因は様々あると言われていて、影響があるのは、30℃を越す高い海水温や強すぎる太陽の光をあびることによるストレスだと考えられています。



環境省も、白化現象の原因を探る調査を行っています。



も やくわり いちぶ しょうかい
【サンゴの持つ役割の一部を紹介】



かんこう
観光・レクリエーション

けいかん せいたいけい いじ
景観・生態系の維持

りくち まも はたら
陸地を守る働き

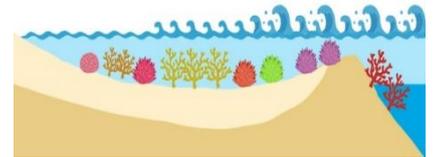


シュノーケル・ダイビング等
 たくさんの人がサンゴをみて
 楽しみます



サンゴ礁はたくさんの生きもの
 たちの住処になります

※出典：環境省 サンゴ礁保全の取り組み (<https://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/index.html>)



成長すると、陸地を囲む海中の堤防
 のように、陸地を波から守ります



せとないかい ぐんらく
瀬戸内海にサンゴの群落が！？ニホンアワサンゴについて

ニホンアワサンゴとは

世界中でも、東アジアにしか生息していないサンゴの1種で、
 日本では鹿児島県から北側、海流（黒潮）に沿って広範囲に分布し
 ているサンゴの1種です。

沖縄など、暖かい地域のイメージが強いサンゴですが、近年、この

ニホンアワサンゴの国内最大規模の群生地（群生地とは、同じ種類

の生きものが集まって生息している場所のこと）が瀬戸内海の

山口県周防大島町の屋代島周辺にあることがわかりました。

環境省ではその群生地を守るため、2013年2月に国立公園の海域

公園地区に指定しサンゴの保護に努めています。ニホンアワサンゴ

は、山口県周防大島町にあるなぎさ水族館でも見ることができ

で、ぜひ訪れてみてくださいね。



山口県周防大島町のなぎさ水族館



館内で飼育されているニホンアワサンゴ

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。
 出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148

竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

